



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月8日

上場会社名 株式会社駅探 上場取引所 東
 コード番号 3646 URL <https://ekitan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金田 直之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画室長 兼 財務経理部長 (氏名) 小嶋 勝也 TEL 03-6367-5951
 四半期報告書提出予定日 2023年2月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	2,373	11.9	200	△5.2	60	△19.7	58	△23.2	51	48.2
2022年3月期第3四半期	2,120	42.3	211	13.1	74	△47.9	76	△52.7	34	△62.8

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 51百万円 (48.2%) 2022年3月期第3四半期 34百万円 (△62.8%)

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	9.55	—
2022年3月期第3四半期	6.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,094	2,446	79.1
2022年3月期	3,541	2,838	80.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 2,446百万円 2022年3月期 2,838百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,511	21.5	386	21.2	180	30.4	182	29.5	133	66.7	24.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）プラウドエンジン株式会社、除外 1社
（注）詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
（注）詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	6,018,800株	2022年3月期	6,818,800株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,171,316株	2022年3月期	1,309,116株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	5,411,043株	2022年3月期3Q	5,509,684株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算補足資料は2023年2月8日（水）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（第8波）の影響を受けながらも、徐々に経済社会活動の制限が緩和され、国内の経済活動は一定の回復傾向がみられました。

一方で、長期化するロシア・ウクライナ情勢に伴うエネルギーコストの上昇による物価の上昇が少しずつ広がりを見せ、個人消費マインドへの影響が懸念されており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、モビリティサポート事業における売上高は、乗換案内サイトやアプリといった保有メディアへのアクセス数増による広告収入の増加やMaaS等の法人向けサービスの受注により伸長しました。一方で、乗換案内等の有料会員サービスにおいては、コモディティ化等の市場環境の影響による有料会員の減少傾向に伴い、当サービスにおける収益は継続的に減少しております。また、広告配信プラットフォーム事業では、株式会社サークアが運営する広告配信サービス「Cirqua」において、2021年8月の改正薬機法の影響で収益が大きく落ち込んだものの、改正薬機法に対応した新掲載基準による運用で収益状況が改善されたことに加え、当第3四半期連結会計期間からクラウドエンジン株式会社が新たに連結子会社となったことにより、売上高は増加しました。その結果、グループ全体の売上高は、前年同四半期と比べて、増収となりました。

利益面では、バックオフィス業務の内製化、効率化によるコスト削減に加え、新型コロナウイルス感染症対策をきっかけに原則在宅勤務への移行に伴い、オフィス縮小による賃借料の削減等、徹底的なコスト削減に努めてまいりましたが、利益率の高い有料会員サービスの売上高減少分を補うには至らず、営業利益及び経常利益は、減益となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、連結子会社の株式会社ラテラ・インターナショナルにおいて、債務免除益を特別利益に計上したことにより、増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,373,228千円（前年同四半期比11.9%増）、EBITDAは200,259千円（前年同四半期比5.2%減）、営業利益は60,094千円（前年同四半期比19.7%減）、経常利益は58,903千円（前年同四半期比23.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は51,655千円（前年同四半期比48.2%増）となりました。

セグメントごとの対前第3四半期連結累計期間の経営成績は、次のとおりであります。

①モビリティサポート事業

乗換案内サービスのコモディティ化による継続的な有料会員の減少に伴い、減収傾向で推移しました。一方で、乗換案内サイトやアプリといった保有メディアへのアクセス数増による広告収入の増加や北海道江差町エリアでの地域住民向けMaaSの実証実験等の法人向けサービスの受注により伸長したものの、有料会員サービスの売上高、利益の減少分を補うには至らず、減収減益となりました。

この結果、売上高は1,183,703千円（前年同四半期比3.2%減）、EBITDAは363,339千円（前年同四半期比21.7%減）、セグメント利益は320,195千円（前年同四半期比22.6%減）となりました。

②広告配信プラットフォーム事業

株式会社サークアが運営する広告配信サービス「Cirqua」において、2021年8月の改正薬機法の影響で収益が大きく落ち込んだものの、改正薬機法に対応した新掲載基準による運用で収益状況が改善されたことに加え、当第3四半期連結会計期間からクラウドエンジン株式会社を当セグメントに追加したことに伴い、増収となりました。一方で、利益面においては、売上高の増加が寄与し、損失額は縮小しましたが、のれん等の償却費の計上に加え、前連結会計年度からサービスを開始しておりますパーティカルメディア「駅探PICKS」において、先行投資を実施したことにより、損失となりました。

この結果、売上高は1,189,525千円（前年同四半期比32.4%増）、EBITDAは53,812千円（前年同四半期比3,991千円）、セグメント損失は39,392千円（前年同四半期は67,775千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,801,881千円となり、前連結会計年度末に比べ620,814千円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少646,330千円、売掛金及び契約資産の増加13,183千円によるものであります。固定資産は1,292,498千円となり、前連結会計年度末に比べ173,688千円増加しました。これは主に、ソフトウェアの増加57,045千円、のれんの増加49,048千円、無形固定資産「その他」の増加60,807千円によるものであります。この結果、総資産は3,094,379千円となり、前連結会計年度末に比べ447,126千円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は386,260千円となり、前連結会計年度末に比べ17,465千円減少しました。これは主に、買掛金の増加37,434千円、未払法人税等の減少44,260千円、賞与引当金の減少12,533千円によるものであります。固定負債は261,577千円となり、前連結会計年度末に比べ37,263千円減少しました。これは主に、固定負債「その他」の減少37,098千円によるものであります。この結果、負債合計は647,837千円となり、前連結会計年度末に比べ54,728千円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,446,541千円となり、前連結会計年度末に比べ392,398千円減少しました。これは、利益剰余金の減少470,025千円によるものであります。この結果、自己資本比率は79.1%となり、前連結会計年度末に比べ1.1ポイント低下しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結会計期間よりプラウドエンジン株式会社を連結子会社としておりますが、その影響額は業績予想を修正するまでには至らないと判断したため、2022年5月11日に公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,079,577	1,433,246
売掛金及び契約資産	321,142	334,326
仕掛品	273	1,941
原材料及び貯蔵品	1,963	1,778
その他	20,310	31,048
貸倒引当金	△570	△459
流動資産合計	2,422,696	1,801,881
固定資産		
有形固定資産	70,964	67,496
無形固定資産		
ソフトウェア	256,886	313,931
顧客関係資産	266,546	279,435
のれん	415,890	464,939
その他	19,007	79,814
無形固定資産合計	958,330	1,138,120
投資その他の資産	89,514	86,881
固定資産合計	1,118,810	1,292,498
資産合計	3,541,506	3,094,379
負債の部		
流動負債		
買掛金	167,826	205,261
未払法人税等	47,654	3,394
賞与引当金	12,533	—
買付契約評価引当金	13,156	13,156
その他	162,554	164,448
流動負債合計	403,725	386,260
固定負債		
長期借入金	100,000	100,000
役員退職慰労引当金	19,800	21,420
資産除去債務	14,412	14,412
繰延税金負債	125,529	123,744
その他	39,098	2,000
固定負債合計	298,841	261,577
負債合計	702,566	647,837
純資産の部		
株主資本		
資本金	291,956	291,956
資本剰余金	293,531	293,531
利益剰余金	2,926,669	2,456,644
自己株式	△673,216	△595,589
株主資本合計	2,838,940	2,446,541
純資産合計	2,838,940	2,446,541
負債純資産合計	3,541,506	3,094,379

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	2,120,616	2,373,228
売上原価	1,393,847	1,674,386
売上総利益	726,768	698,841
販売費及び一般管理費	651,953	638,746
営業利益	74,815	60,094
営業外収益		
受取利息	17	18
未払配当金除斥益	138	157
助成金収入	1,600	1,500
利子補給金	941	941
その他	107	111
営業外収益合計	2,805	2,729
営業外費用		
支払利息	958	941
為替差損	0	—
自己株式取得費用	—	2,978
営業外費用合計	958	3,920
経常利益	76,661	58,903
特別利益		
債務免除益	—	18,531
特別利益合計	—	18,531
特別損失		
固定資産除却損	188	—
特別損失合計	188	—
税金等調整前四半期純利益	76,472	77,435
法人税等	41,618	25,779
四半期純利益	34,854	51,655
親会社株主に帰属する四半期純利益	34,854	51,655

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	34,854	51,655
四半期包括利益	34,854	51,655
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,854	51,655

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年11月9日開催の取締役会決議に基づき、2022年11月10日付で、自己株式746,200株の取得を行い、2022年11月30日付で、自己株式800,000株の消却を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が406,783千円、自己株式が34,429千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が2,456,644千円、自己株式が595,589千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間において、クラウドエンジン株式会社の株式を取得し子会社化したため、連結の範囲に含めております。なお、クラウドエンジン株式会社は当社の特定子会社に該当しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	モビリティサポート事業	広告配信プラットフォーム事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,222,202	898,414	2,120,616
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,222,202	898,414	2,120,616
セグメント利益又は損失 (△)	413,549	△67,775	345,773
減価償却費	49,378	37,181	86,560
のれん償却額	1,295	34,585	35,880
EBITDA (注)	464,222	3,991	468,214

(注) EBITDAは、セグメント利益又は損失に減価償却費及びのれん償却費を加えた数値であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	345,773
全社費用 (注)	△270,958
四半期連結損益計算書の営業利益	74,815

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「広告配信プラットフォーム事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に株式会社サークアの株式を取得したことに伴い、連結の範囲に含めております。

当該事象によるのれんの増加額は、第1四半期連結会計期間においては449,612千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	モビリティサポート事業	広告配信プラットフォーム事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,183,703	1,189,525	2,373,228
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,183,703	1,189,525	2,373,228
セグメント利益又は損失(△)	320,195	△39,392	280,803
減価償却費	42,280	56,452	98,733
のれん償却額	863	36,752	37,615
EBITDA(注)	363,339	53,812	417,152

(注) EBITDAは、セグメント利益又は損失に減価償却費及びのれん償却費を加えた数値であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	280,803
全社費用(注)	△220,708
四半期連結損益計算書の営業利益	60,094

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「広告配信プラットフォーム事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間にクラウドエンジン株式会社の株式を取得したことに伴い、連結の範囲に含めております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結会計期間においては84,497千円であります。